

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第49号



2008年、新年になりました。暮らしと未来を守る政治の責任、日本共産党の役割が益々問われています。気を引き締めて今年もがんばります。



漫画：安藤たい作

憲法の本質、いきわたる政治に

2008年・貧困と格差を拡げ続ける弱肉強食政治を切り替えるため、全力をあげます

年が明け、2008年になりました。犯罪や戦争の原因を作り出しているのが、貧困の問題です。先駆的な日本国憲法の精神にのっとり、貧困を根絶する政治が今ほど求められている時はありません。

年明け早々、戸越銀座商店街で通り魔事件がありました。逮捕された高校二年生は「誰でもいいから皆殺しにしたかった」と供述。このような事件はこのところ急増しているということを感じます。死者が出なかったのが本当に幸いですが、この男子高校生を凶行に走らせた背景には、貧困や格差の広がり、学力偏重の過度の競争教育、政治家に端を発した社会全体のモラルの低下など、社会や政治全体の問題がなかったでしょうか。年頭から考えざるをえませんでした。

先駆的な内容の「生存権」生かされているか

突然ですが、日本には戦争の放棄を定めた9条や、男女平等を定めた4条などを含む「日本国憲法」という素晴らしい憲法があります。とりわけ「すべて国民

は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と生存権を規定し、そ

の保障義務を国に対して定めた5条は、世界でも例を見ない先駆的なものです。サミット参加国で憲法にこの「生存権」の明文規定をもつ国は、日本の他はイタリアくらい。この生存権は、戦争の原因となった貧困を除去するため、世界人権宣言や国際人権規約にも盛り込まれ、世界でも広く認められていったのです。

本来、この憲法の理念が隅々にまで生かされていれば、日本は本当に素晴らしい国になると思います。安倍前首相は、国民生活を顧みず「改憲」に執念を燃やし、破綻に追い込まれました。問題は憲法を変えるのではなく、憲法を生かそうとしない今の政治のていたらくにあるのだと思います。

皆さんと力合わせ、今年も頑張ります

皆さんと力を合わせて今の冷たい政治を変え、憲法が隅々まで生かされ、犯罪も戦争も抑圧もない社会を目指すため、日本共産党は今年も頑張ります。

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。